

令和7年度第2回豊田市学校給食センター運営委員会 議事概要

日時：令和7年11月14日（金） 午後2時から午後3時30分まで

場所：豊田市役所東庁舎 6階 教育委員会会議室

委員：

＜参加者＞ 10名

委員長：松原 秀敏（小中学校長代表）

副委員長：田口 真穂（小中学校長代表）

委員： 河野 輝敬（こども園園長代表）

和田 ゆい子（こども園保護者代表）

日高 一輝（豊田市PTA連絡協議会代表）

熊本 陽子（小中学校給食主任代表）

松崎 里香（小中学校給食主任代表）

森岡 高恵（栄養教諭・学校栄養職員代表）

今枝 雅加良（市民公募委員）

加藤 智和（市民公募委員）

＜欠席者＞ 5名

委員： 今井 千絵（こども園園長代表）

重田 玲子（栄養教諭・学校栄養職員代表）

竹内 清美（豊田市保健所長）

安藤 伯秋（豊田加茂学校保健会会长）

富口 潤之輔（豊田加茂薬剤師会理事）

事務局：中垣 秋紀（教育部長）

加藤 世明（保健給食課長）

大上 良典（保健給食課副課長）

細田 晃展（保育課副課長）

加藤 由美子（保育課副主幹）

近藤 邦博（保健給食課担当長）

近藤 裕介（保健給食課担当長）

田中 和佳奈（保健給食課主査）

木田 奈緒子（保健給食課主査）

次第

- 1 あいさつ
- 2 委員長あいさつ
- 3 豊田市学校給食センター運営委員会について
- 4 議題：給食費単価の改定及び給食費代替給付について
- 5 報告事項：豊田市における学校給食関連施策の現状について
- 6 報告事項①：ふれあい給食の実施について
- 7 報告事項②：食物アレルギー確認等のウェブ化について
- 8 報告事項③：牛乳パックの変更について
- 9 報告事項④：東部給食センター包括的運営業務委託事業について
- 10 報告事項⑤：令和7年度の給食関連事業について
 - ・こどもの声を聴く取り組み
 - ・地産地食の推進と有機農産物等の活用
- 11 報告事項⑥：愛知県立豊田西高等学校附属中学校への給食提供について

＜要点＞

議題 給食費単価の改定及び給食費代替給付について

詳細について説明し、意見等を伺い、給食費単価および代替給付額の改定についての承認を得た。

報告事項①～⑥

ふれあい給食の実施、食物アレルギー確認等のウェブ化、牛乳パックの変更、東部給食センター包括的運営業務委託事業、令和7年度の給食関連事業、愛知県立豊田西高等学校附属中学校への給食提供

それぞれについて詳細を説明し、意見や感想を伺った。

議事の摘要

(議題 給食費単価の改定及び給食費代替給付について)

＜意見・質問等＞

委員 値上げをすることについて、何人かの先生は知っていた。ぜひ喜んでということではないが、物価高騰しているので今の質を維持するにはしょうがないという声は聞く。

委員 値上げはうれしいものではないが、特色ある給食・地産地食など、栄養教諭の説明の中で豊田市産の野菜を使っていると聞くと、子どもたちの目がキラキラするので、そこは無くしてほしくない。デザートがなくなったり、質を落としてほしくないので、値上げは致し方ないと感じる。

委員 日々の献立を作成する中で、行事食・伝統食、とよたブランドの日、アジア・アジアパラ競技大会献立など、特別な献立を作成すると日々の価格が高くなつ

てしまう。食材費のみで計算しているが、光熱費や調理員の給料等を含めると、値上げ後もこの価格で大丈夫かという思いもある。

子どもたちは見た目で判断するので、食べ応えだけでなく、デザートがつくかどうかかも重要。

他の先生から、「不登校気味の子が、大学いもの日だから学校に行くと聞き、給食の力を思い知った」と言われた。給食を食べるだけでも、家から一歩でも出るのはうれしいと感じた。

委員 物価高騰や食材費の高騰による給食費の改定は仕方ないと感じている。限られた費用の中で質を堅持して、安全な食を維持しようとすると、食材費がかかるのは承知している。何より給食の時間を子どもたちは大事にしている。生産者の気持ちを含めて色々な食材を口にできるよう子どもに声かけをしている。今までどおりの質を守るために、価格改定は受け入れていくべきだと思っている。
代替給付については、園の対象者の数が多いのは市外の園に通う子も含めてということだと思うが、平等な給付ということであれば続けていただきたい。

委員 380円で本当に大丈夫なのかとは思う。買い物する際もすごく考えて切り詰めないとその金額は出てこない。もっと上げてもいいのではないか。物価変動は細かにあるので、2年ごとの見直しではなく、短い期間で検討するのがよいのではないか。

委員 物価高騰が進んでいるので、国から補助が出たらプラスになると良い。家で子どもと「給食で出たみかんの皮自分でむけたんだよ」とのやりとりができてうれしかった。給食が親子の会話になる。

委員 長年かけて見直しをしていたのを、2年単位で見直しをすることと、値上げ幅が今までより大きく、強い思いが伝わっている。
子どもがいるが、値上げに向けて市の方が動いているのを見られて、親として安心してうれしく感じている。

委員 不登校の子も料理ができるようになりたいというところから、給食で好きなメニューの日だけ保健室登校で給食を食べた子もいた。逆に咀しゃく音が気になって苦痛となり、不登校のきっかけになった子もいる。良くも悪くも、不登校のきっかけになる給食の存在の大きさを感じた。
金額改定は給食の質と量を担保するためには、やむを得ないと感じている。
次期改定まで不足額については公費負担とするとあるが、過剰額が生じた場合にはどうするのかというのも説明の時に必要なではと思った。

委員 本校でも教室に入れない子はいるが、毎日給食を食べに来ている子がいる。物価高騰で栄養教諭の先生が食材の選定に非常に苦労されていると感じる。だからこそ、栄養たっぷりで季節感を感じる給食や今週の日本型食習慣など

子どもの興味が湧く内容となっており、子どもたちの健康のために力を注いでいただきたい。

事務局 豊田市の代替給付は豊田市立の学校と、市外の県立の特別支援学校に通わざると得ない子を対象としている。国立や私立へ通う子どもへ代替給付している自治体もある。豊田市が国立や私立の子へ代替給付を行うと、不登校への支援が少ないのでないのではないかと言われることが予想される。支援について、ご意見を伺いたい。

委員 他市の動向はどうか。

事務局 みよし市、安城市は給付している。東京都は区によって私立に出している、出していない等ある。
園の場合は保育料無償化が前提のため、対象となっている。

委員 自治体による違いはなぜか。

事務局 給付をどのようにするか判断が分かれる。園の場合は出席状況がわかるが、私立学校の場合だと本当に登校しているのかや、給食提供しているかもわからない。県外に通っている子もあり、実態がつかみにくい。

委員 給食無償化の目的と対象が何かが基準となる。子育て支援という目的で無償化するのであれば、公立や私立で線引きするのは抵抗を感じる。
現金給付というのは日々色々な家庭を見ると、それが子どもに届くのかという心配なご家庭も一定数ある。

委員 登校実態を確認できないのは難しいと感じる。確認できないが、給付すると逆に不公平を感じる。実態把握は必要であると思う。

委員 私立も代替給付するのであれば、公立校と支給額は変わらるのか。

事務局 規則で定められる単価を基に払うことになるかとは思う。

委員 目的と対象が重要になっていくと思う。

議決：賛成多数により、給食費単価の改定について賛成とする。

(報告事項①～③ ふれあい給食の実施、食物アレルギー確認等のウェブ化、牛乳パックの変更)

＜質問・感想等＞

委員 アレルギーの件について、セキュリティについてはどうなのか。

事務局 セキュリティについては、個人情報の部分については安全なセキュリティエリアで運用することになっている。

委員 今だと紙で確認しているが、タブレットで確認できるようになるのか。

事務局 将来的には教育用ダッシュボードでの連携を考えているが、来年度は間に合わない。

園は小中学校のような個別管理ではなく、検索機能を使用できるように想定している。

翻訳は英語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語を検討中である。

委員 セキュリティ対策、操作ミスが起きない設計をお願いしたい。

(報告事項④～⑥ 東部給食センター包括的運営業務委託事業、令和7年度の給食関連事業、愛知県立豊田西高等学校附属中学校への給食提供)

＜質問・感想等＞

委員 農園の方針にあるが、子どもたちのために、子どもたちが食べられる野菜をテーマに、豊田市の学校給食として食べてもらえる機会は大変ありがたい。熱い思いを持っている生産者は他にも多くいるので、このような指導をする機会が続けられるといい。

委員 今の学校の給食時間はどれくらいを設定しているか。

委員 準備片付け含め、小学校は45分、中学校は40分。

委員 大人でも1時間休憩ある。食べる時間は確保できているのか、子どもは食べる時間がなかったということを言っている。時間は伸ばすことはできないのか。

委員 1年生は4時間目を早めに終わり、給食の準備に入る場合もある。

委員 食べる時間を確保できるように日課は考えている。
概ね食べられているといふかと思う。

委員 15分タイマーと設定すると書いてあるので驚いた。味わう時間があるとは思えない。みんなで楽しみながら食べるというイメージがあったが、コロナを経て変わった部分もあるとは思う。

委員 ずっと友達と話していて食べられない子もいるので、食べることに集中する時間もいることもある。

- 委員 今後とも子どもたちの意見を聴く機会をお願いしたい。
- 委員 給食の白衣は、ずっと継続して提供されるか。子どもたちが自分のエプロンがよいという意見もある。エプロンが戻ってこないことや香害の問題もある。他人の家で洗ったものを着たくないという意見もある。
- 事務局 白衣を着ることで異物混入を防ぐ目的もある。まだ方向性は決まっていないが、今後検討していく必要はあると思う。